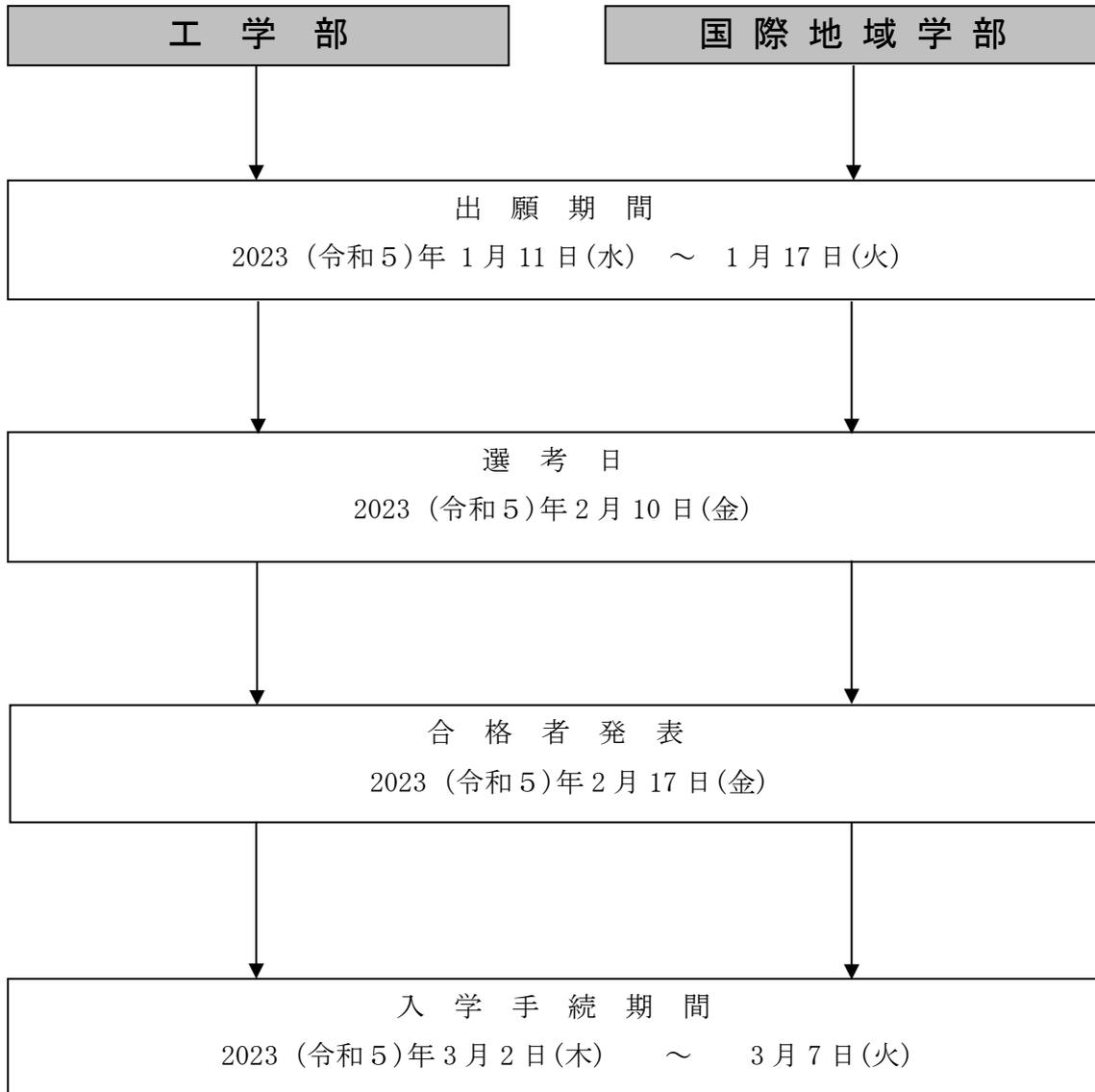


2023（令和5）年度
私費外国人留学生選抜
学 生 募 集 要 項

2022（令和4）年10月



2023（令和5）年度 福井大学私費外国人留学生選抜日程の概要



目 次

| | | |
|------|------------------------------|----|
| I | アドミッション・ポリシー | 1 |
| II | 募集人員 | 7 |
| III | 出願資格 | 8 |
| IV | 出願手続 | 10 |
| V | 選抜方法等 | 12 |
| | ◎「新型コロナウイルス感染症対策のための注意事項」 | 13 |
| | ◎「新型コロナウイルス感染症対応における受験可否の基準」 | 13 |
| VI | 合格者発表 | 14 |
| VII | 入学手続 | 14 |
| VIII | 個人情報の利用 | 15 |
| IX | 学生募集要項の請求 | 16 |

【添付書類】

入学志願票，受験票・写真票，振込依頼書，あて名票，在留資格に係る承諾書，
返信用封筒，出願用封筒

【TOEFL の DI コード】

福井大学 (University of Fukui) DI コード : 「0184」

<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は，志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって，必ず本人の責任で確認してください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から，受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は，本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。 [福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・電話での照会は，祝日及び年末年始を除く，月～金曜日の 9:00～17:00 に，この学生募集要項を手元に置き，必ず志願者本人が行ってください。

I アドミッション・ポリシー

1. 工学部

(1) 工学部で養成する人材像

工学部では、「安全で安心な社会の創造」に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元します。この方針のもと、人材養成の基本コンセプトとして「グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者“グローバルイマジニア”の育成」を掲げ、安全で安心な社会の創造のための知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力、さらに歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を備えた高度専門技術者を養成します。

各学科では、以下のような人材を養成します。

| | |
|------------|--|
| 機械・システム工学科 | 多種多様な革新的機械・システム技術の創造や原子力の安全性向上に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成します。 |
| 電気電子情報工学科 | 電気工学から発し、歴史とともに拡大・細分化してきた通信工学，半導体工学，計算機工学，情報工学の学問分野を広くカバーするカリキュラムにより，電気系，情報系の学問基礎の体系的な修得と両分野に跨る分野横断的な応用力と実践力を有する人材を養成します。 |
| 建築・都市環境工学科 | 建築学と土木工学を基礎とし，ますます顕在化する社会基盤施設の維持・保全管理，国土の強靱化，少子高齢化社会への対応，環境調和型の生活空間の構築等，安全・安心で快適な社会生活環境の実現に貢献する実践力ある人材を養成します。 |
| 物質・生命化学科 | 高性能・高機能な材料・繊維の創製に向けた教育・研究，化学製品の合成・開発・利用を指向した物質の探求，医学・農学と工学の融合分野への応用を目指したバイオテクノロジー教育などを通じて，持続可能で豊かな社会の実現に向けて，地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる人材を養成します。 |
| 応用物理学科 | 工学の幅広い分野に対応できる確固とした理工学の知識・思考方法・応用能力を修得するとともに，総合的な実践力や産業関連知識を自ら学び，課題解決につなげる力，グローバルな行動力，倫理観を身につけた物理を中心とした基礎科学を応用展開できる人材を養成します。 |

(2) 求める学生像

(2-1) 求める学生像

工学部では、養成する人材像を踏まえ、以下のような学生を求めます。

1. グローバルイマジニアとして地域社会や国際社会に貢献する意欲を有する人
2. 高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において、理工学分野の基礎となる知識及び実践力を習得している人
3. 正確な文章読解，論理的な記述，適切な表現などの基本的な言語運用能力を有する人
4. 豊かな人間性，周囲との協調性，奉仕の精神を有し，柔軟な発想力をもって課題解決に向け主体的に行動できる人

特に、各学科では以下のような入学者を求めます。

| | |
|------------|--|
| 機械・システム工学科 | <ol style="list-style-type: none">1. ものづくりに興味があり，機械工学・ロボティクス・原子力安全工学の基礎となる数学や理科が好きな人2. 機械工学・ロボティクス・原子力安全工学に関する専門的な知識を身につけたい人3. 機械工学・ロボティクス・原子力安全工学のエンジニアとして，ものづくりにより社会に貢献する意欲を有する人 |
| 電気電子情報工学科 | <ol style="list-style-type: none">1. 電気・電子・情報分野を伝承するとともに，新たな創造に挑戦したい人2. 電気，電子，コンピュータを学ぶための数学や物理が好きな人3. 論理的思考力を問題解決に活かしたい人 |
| 建築・都市環境工学科 | <ol style="list-style-type: none">1. 建物のデザインや安全性，建築環境の改善や創造に興味を持つ人2. 社会基盤や都市のデザイン，安全性，都市環境の改善や創造に興味を持つ人 |
| 物質・生命化学科 | <ol style="list-style-type: none">1. 物質や生命の不思議にワクワクする人2. 創造する化学にチャレンジしたい人3. 新素材，繊維，バイオに興味がある人 |
| 応用物理学科 | <ol style="list-style-type: none">1. 物理や数学に基づいて，ものごとを基本に戻って考える能力を有する人2. 先端科学技術分野への強い興味を持つ人3. ものづくりや実験の基礎となる知識・技能を有している人 |

(2-2) 入学までに学習しておくことが期待される内容

工学部では、高等学校段階までの数学や理科に関する基礎学力が十分身に付いていることを前提に専門教育を行います。また、それら以外の教科に関する知識も、ものごとを多面的にとらえ、専門知識を「安全で安心な社会の創造」に結び付けるための基礎となります。これらのことから、高等学校段階では、数学や理科はもちろん、それ以外についても幅広く学習し、視野を広げておくことを期待します。

(3) 入学者選抜の基本方針

多様な背景を持った学生の受入れを進めるため、一般選抜（前期日程、後期日程）、学校推薦型選抜Ⅰ、総合型選抜Ⅱ、私費外国人留学生選抜、第3年次編入学入試を実施します。それぞれの選抜においては、求める学習成果を踏まえ、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

【一般選抜】

大学入学共通テスト並びに個別学力検査及び調査書を用いて評価・判定します。

<前期日程>

| | |
|-----------------------------------|---|
| 機械・システム工学科 電気電子情報工学科 応用物理学科 | 大学入学共通テスト（5教科7科目）により、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、個別学力検査（数学、物理）により、数学と物理に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。 |
| 建築・都市環境工学科 物質・生命化学科 | 大学入学共通テスト（5教科7科目）により、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、個別学力検査（数学、物理又は化学）により、数学と物理又は化学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。 |

<後期日程>

| | |
|-------|---|
| 全 学 科 | 大学入学共通テスト（5教科7科目）により、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、個別学力検査（数学）により、数学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。 |
|-------|---|

【学校推薦型選抜Ⅰ】

出身学校長の推薦に基づいて、大学入学共通テストを免除し、調査書等を活用して評価・判定します。

| | |
|-------------------------|---|
| 電気電子情報工学科 | 大学入学共通テストを免除し、推薦書、調査書、志願理由書及び面接（口述試験を含む）の結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。 |
| 建築・都市環境工学科 （高大接続型入試） | 大学入学共通テストを免除し、推薦書、調査書、志願理由書、面接（口述試験を含む）及びプレゼンテーションの結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。 |

【総合型選抜Ⅱ】

大学入学共通テスト、書類審査、面接等を組み合わせて評価・判定します。

| | |
|-----------|--|
| 全 学 科 共 通 | 第1次選考では、書類審査により文章力や自己アピール力等の評価を行うとともに、調査書等に基づいて基礎学力の評価を行います。最終選考では、大学入学共通テストにより基礎学力を総合的に評価し、さらに面接（口述試験を含む）により、目的意識・意欲、表現力等の評価及び理数系科目の学力を評価します。以上を総合して、能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を評価・判定します。 |
|-----------|--|

【私費外国人留学生選抜】

真に修学を目的とした志願であることの確認も含め、能力・意欲・適性等を評価・判定します。

| | |
|-----------|---|
| 全 学 科 共 通 | 日本留学試験及び TOEFL の成績，並びに，面接，口述試験（簡単な筆記試験を行う場合もある）及び出願書類により，日本語能力と理数系科目の学力を中心とした能力，意欲，適性，目的意識等を総合的に評価・判定します。 |
|-----------|---|

入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の3要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。多面的・総合的な評価・判定を行うにあたり重視するものに○を付しています。ただし、○を付していないものでも、その評価結果が著しく低い場合には、判定に大きく影響しません。

| 学力の3要素 | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・多様性・協働性 |
|--|-----|--|--|--|
| 求める学習成果 ※第3年次編入学を希望する者には、右記に加え、編入学後の学修に必要な学力や主体的に学ぶ態度を有していることが求められます。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校段階までに学ぶ幅広い教科・科目の知識・技能 ・工学部における学修の基礎である数学や理科に関する知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> ・左記の知識・技能を課題の解決につなげるための思考力・判断力・表現力 | <ul style="list-style-type: none"> ・志望する学科の専門分野に対する強い興味 ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
| 一般選抜 (前期日程) | 全学科 | ○ 大学入学共通テスト | ○ 大学入学共通テスト ○ 個別学力検査 | 調査書 |
| 一般選抜 (後期日程) | 全学科 | ○ 大学入学共通テスト | ○ 大学入学共通テスト ○ 個別学力検査 | 調査書 |
| 学校推薦型選抜 I | EI | ○ 調査書 ○ 面接（口述試験を含む） | ○ 面接（口述試験を含む） 志願理由書 | ○ 推薦書，調査書，志願理由書 ○ 面接（口述試験を含む） |
| 学校推薦型選抜 I (高大接続型入試) | AC | ○ 調査書 ○ 面接（口述試験を含む） | ○ 面接（口述試験を含む） 志願理由書 | ○ 推薦書，調査書，志願理由書 ○ 面接（口述試験を含む） ○ プレゼンテーション |
| 総合型選抜 II | 全学科 | ○ 大学入学共通テスト 調査書 | ○ 大学入学共通テスト ○ 面接（口述試験を含む） 志願理由書 自己推薦書 | ○ 自己推薦書，調査書，志願理由書 ○ 面接（口述試験を含む） |
| 私費外国人留学生選抜 | 全学科 | ○ 日本留学試験成績証明書 ○ TOEFL | ○ 面接及び口述試験（簡単な筆記試験を行う場合もある） | ○ 面接及び口述試験（簡単な筆記試験を行う場合もある） |

MS:機械・システム工学科，EI：電気電子情報工学科，AC:建築・都市環境工学科，MB：物質・生命化学科，AP:応用物理学科

2. 国際地域学部

(1) 国際地域学部において養成する人物像

国際地域学部では、地域や国際社会が抱える複雑な諸課題、つまり地域・国内・世界のそれぞれにおいて、急速に進行するグローバル化・少子高齢化・コミュニティの機能低下・環境破壊等の相互に関連した諸課題を探究し、課題解決を実現するための実践的・総合的な能力を身につけることによって、地域の創生を担いグローバル化社会の発展に寄与できる人材を育成します。

(2) 求める学生像

(2-1) 求める学生像

国際地域学部では、養成する人物像を踏まえ、以下のような学生を求めます。

- ①グローバル化によって地域から国際社会にまで起こっている複雑な諸課題について関心をもち、それについての探究を深め、課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲のある人。
- ②課題の探究と解決に向けて、必要となる専門的な分野の学習に取り組む意欲を持つとともに、課題解決の方法を探り、他の人と協働で実践的に取り組んでいくことに積極的である人。
- ③世界共通語的性格をもつ英語はもちろん、多文化的なグローバル社会の中で活躍できるコミュニケーション能力を身につけることに意欲を持ち、他の人との対話を通して、活動を広げ深めようとする人。

(2-2) 入学前に学習しておくことが期待される内容

国際地域学部では、高等学校あるいはそれに準ずる教育課程において学習する基礎的学力が十分身につけていることを前提に、英語能力を含む人文・社会科学分野を中心とした専門的知識・技能に加えて、現代の複合的な課題を理解し解決するために必要な自然科学分野の基礎的知識・技能も修得します。そのため、高等学校段階までに学ぶ各教科について、十分な基礎的学力を身に付けておくとともに、国や地域、文化や言語の多様性に目を向け、文系・理系の枠組みにとらわれず幅広い学問領域や現代社会の諸課題に対する興味を育ておくことが期待されます。

(3) 入学者選抜の基本方針

様々な資質と背景を持った学生を受け入れるため、以下のような多様な入学者選抜を実施し、それぞれの選抜において、求める学生像にふさわしい能力・意欲・適性等を多面的かつ総合的に評価します。【この募集要項は⑤について記載しています。】

①一般選抜（前期日程）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、教科・科目の学力を重視した学力検査を実施し、専門分野の学習に必要な知識・能力を評価します。

②一般選抜（後期日程）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、小論文を課し、国際・地域社会に関わる課題を提示して論述させ、思考力・分析力・表現力を総合的に評価します。また、面接を実施し、国際・地域の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

③学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、面接を実施し、国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

④総合型選抜Ⅰ（高大接続型入試）（大学入学共通テストを課さない）

大学入学共通テストは免除し、第1次選考では、高校での取り組みやその成果に関するレポート等により、取り組みの内容と文章力及び自己アピール力等を評価します。さらに、提出された調査書等に基づき基礎的学力の評価を行います。最終選考では、取り組みに対するプレゼンテーション及び面接（口述試験を含む。）により、国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

⑤私費外国人留学生選抜

小論文で、日本語の理解力と表現力を、また、面接によって日本で学ぼうとする意欲・資質・適性等を測ります。これらに日本留学試験と英語能力試験の成績を加えて総合的に評価します。

⑥私費外国人留学生選抜（外国人特別枠入試）

海外在住外国人を対象とし、英語能力試験の成績、日本語能力試験の成績、出願書類（志願理由書、推薦書、成績証明書）及びインターネットを利用した面接に基づき、総合的に評価します。

上記の入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の3要素等を多面的・総合的に評価・判定し、入学者を選抜します。なお、評価を行うにあたり、重視するものに○を付しています。学力検査の詳細と配点については募集要項に記載します。

| 入試区分 | 入学者選抜方法 | 基礎的な知識・技能 | 知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探求し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力 | 主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度 |
|---------------------|--------------------------|-----------|---|--------------------------|
| 一般選抜 (前期日程) | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 個別学力検査（教科） | ○ | ○ | |
| | 調査書 | | | ○ |
| 一般選抜 (後期日程) | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | | | ○ |
| 学校推薦型選抜Ⅱ | 大学入学共通テスト | ○ | ○ | |
| | 面接（口述試験を含む） | ○ | ○ | ○ |
| | 推薦書 | | | ○ |
| | 調査書 | ○ | | ○ |
| | 志願理由書 | | ○ | ○ |
| 総合型選抜Ⅰ (高大接続型入試) | 高等学校等での取り組みとその成果に関するレポート | ○ | ○ | ○ |
| | プレゼンテーション | | | ○ |

| | | | | |
|--------------------------------|--------------|---|---|---|
| | 面接（口述試験を含む） | ○ | ○ | ○ |
| | 調査書 | ○ | | ○ |
| | 志願理由書 | | ○ | ○ |
| 私費外国人留 学生選抜 | 小論文 | ○ | ○ | |
| | 面接 | ○ | ○ | ○ |
| | 日本留学試験・TOEFL | ○ | | |
| | 成績証明書 | ○ | | |
| 私費外国人留 学生選抜 (外国人特別 枠) | 面接 | ○ | ○ | |
| | 志願理由書 | | ○ | ○ |
| | 推薦書 | | | ○ |
| | 日本語能力試験 | ○ | | |
| | 成績証明書 | ○ | | |

II 募集人員

| 学 部 | 学 科 | 募 集 人 員 |
|--------|------------|--------------|
| 工 学 部 | 機械・システム工学科 | 各学科 若 干 名 |
| | 電気電子情報工学科 | |
| | 建築・都市環境工学科 | |
| | 物質・生命化学科 | |
| | 応用物理学科 | |
| 国際地域学部 | 国際地域学科 | 若 干 名 |

工学部の所属コース等の決定

機械・システム工学科（総合型選抜Ⅱ（特別枠）を除く）、電気電子情報工学科、建築・都市環境工学科、物質・生命化学科において、所属するコースは、2年次後期終了時まで本人の希望と入学後の成績等により決定します。

各学科のコースは次のとおりです。

【工学部】

| 学 科 | コ ー ス | コース配属時期等 |
|------------|---------------|---|
| 機械・システム工学科 | 機械工学コース | 応用物理学科を除く各学科のコース選択は2年次後期終了時までに行い、その後各コースへの配属となります。 なお、機械・システム工学科の原子力安全工学コースの学生は、コース配属の3年次から敦賀キャンパスにおいて教育を受けます。 |
| | ロボティクスコース | |
| | 原子力安全工学コース | |
| 電気電子情報工学科 | 電子物性工学コース | |
| | 電気通信システム工学コース | |
| | 情報工学コース | |
| 建築・都市環境工学科 | 建築学コース | |
| | 都市環境工学コース | |
| 物質・生命化学科 | 繊維・機能性材料工学コース | |
| | 物質化学コース | |
| | バイオ・応用医工学コース | |
| 応用物理学科 | ※コース選択はありません | |

Ⅲ 出願資格

日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）で、次の「基礎資格」を有し、かつ、「要件」を満たしている者

1. 基礎資格

【工学部】

次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者2023（令和5）年3月31日までに修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 なお、上記12年の課程には、日本の学校教育制度における修学期間も含まれるが、その場合、修学期間が通算3年以内であること
- (2) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- (5) 日本の学校教育制度における修学期間が通算3年以内の者で、次の①～③までのいずれかに該当する者で2023（令和5）年3月31日までに18歳に達するもの
 - ① 高等学校若しくは中等教育学校を2023（令和5）年3月31日までに卒業した者又は見込み

- の者で2023（令和5）年3月31日までに18歳に達するもの
- ② 文部科学大臣の指定を受けた修業年限3年以上の専修学校高等課程の学科を文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は2023（令和5）年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験合格者（従前の大学入学資格検定合格者を含む）又は2023（令和5）年3月31日までに合格見込みの者
- (6) グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE A レベル）資格を有する者
 - (7) 国際的な評価団体（WASC, ACIS, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設の置かれる12年の課程を修了した者又は2023（令和5）年3月31日までに修了見込みの者
- ※ 基礎資格の(6)により出願を希望する者は、出願前に本学学務部入試課まで問い合わせてください。

【国際地域学部】

次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者2023（令和5）年3月31日までに修了見込みの者を含む）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
なお、上記12年の課程には、日本の学校教育制度における修学期間も含まれるが、その場合は、修学期間が通算3年以内であること
 - (2) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - (5) グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE A レベル）資格を有する者
 - (6) 国際的な評価団体（WASC, ACIS, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設の置かれる12年の課程を修了した者又は2023（令和5）年3月31日までに修了見込みの者
- ※ 基礎資格の(5)により出願を希望する者は、出願前に本学学務部入試課まで問い合わせてください。

2. 要件

次に掲げるすべての要件に該当すること

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2021年度（令和3年度）又は2022年度（令和4年度）日本留学試験（学部で指定する教科・科目）を受験している者
※新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部の地域で2022年度6月試験分の日本留学試験が中止になったことを受け、今年度の選抜に限り、2021年度日本留学試験の成績での出願を認める。
- (2) 2021（令和3）年1月以降に実施された Test of English as a Foreign Language (TOEFL) を受験している者
※国際地域学部においては、TOEFL iBT Home Edition 及び TOEFL ITP Plus for China 等も認める。
- (3) 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に規定する「留学」の在留資格を有する者又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者
注. 工学部及び国際地域学部が指定する日本留学試験の教科・科目は12ページの「V選抜方法等」を参照してください。1教科・科目でも受験していない者は、無資格者となるので注意してください。

IV 出願手続

1. 出願期間・方法

2023(令和5)年1月11日(水)～1月17日(火)17時まで**に必着**

※ 出願書類等は、本学所定の封筒に同封のうえ、学務部入試課へ郵送(書留速達)するものと
し、2023(令和5)年1月17日(火)17時まで**に必着**とします。

ただし、期限後に到着した出願書類のうち、2023(令和5)年1月15日(日)までの発信局日付印のある**書留速達郵便に限り**受理します。持参による出願は認めません。

2. 出願書類提出先

〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

3. 出願書類

| 書 類 等 | 摘 要 |
|----------------|--|
| 入 学 志 願 票 | 所定用紙に、必ず自書してください。 |
| 受験票・写真票 | 縦4cm×横3cmの写真(正面向き、無帽、上半身、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの)を各1枚貼付してください。 |
| 検定料振込受付証明書 | 17,000円 と本学所定の検定料振込依頼書を持参の上、最寄りの銀行等の窓口で納入(郵便局、ゆうちょ銀行の場合は窓口にて口座からの振り込みのみ可能)し、納入時に発行される「 検定料振込受付証明書 」に「 振込受付日付印 」が押されていることを必ず確認し、入学志願票の所定の欄にしっかりと のり付け してください。 なお、検定料の振り込みは、2022(令和4)年12月16日(金)から2023(令和5)年1月17日(火)の金融機関窓口受付終了時刻までに行ってください。ATM、インターネット、コンビニエンスストアからは振り込まないでください。 |
| 出願資格証明書及び成績証明書 | 【工学部】 基礎資格(1)の者 ・諸外国において在学した出身高等学校長が作成した卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書及び成績証明書 基礎資格(2),(3),(4)の者 ・国際バカロレア資格取得者は、国際バカロレア資格証書(写)及び成績証明書 ・ドイツ連邦共和国の各州においてアビトゥア資格を取得した者は、一般的大学入学資格証明書(写)及び成績証明書 ・フランス共和国においてバカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格証書(写)及び成績証明書 基礎資格(5)の①,②の者 ・文部科学省所定の様式による調査書(出身学校長が作成し、厳封したもの)を提出してください。 基礎資格(5)の③の者 ・高等学校卒業程度認定試験合格者(従前の大学入学資格検定合格者含む)は、調査書に代えて「合格証明書」及び「合格成績証明書」を提出してください。 ただし、高等学校等において科目を修得したことにより受験科目を免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。 基礎資格(6)の者 ・GCE Aレベルの成績証明書 基礎資格(7)の者 ・当該課程の修了(見込)証明書(原本)、成績証明書及び当該教育施設が国際的な評価団体の認定を受けていることを証明する書類 【国際地域学部】 基礎資格(1)の者 ・諸外国において在学した出身高等学校長が作成した卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書及び成績証明書 |

| | |
|---------------|---|
| | <p>基礎資格(2), (3), (4)の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際バカロレア資格取得者は, 国際バカロレア資格証書(写)及び成績証明書 ・ドイツ連邦共和国の各州においてアビトゥア資格を取得した者は, 一般の大学入学資格証明書(写)及び成績証明書 ・フランス共和国においてバカロレア資格を取得した者は, バカロレア資格証書(写)及び成績証明書 <p>基礎資格(5)の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GCE Aレベルの成績証明書 <p>基礎資格(6)の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該課程の修了(見込)証明書(原本), 成績証明書及び当該教育施設が国際的な評価団体の認定を受けていることを証明する書類 |
| 日本留学試験の受験票(写) | 2021(令和3)年度又は2022(令和4)年度日本留学試験の受験票の写し(受験番号が記載されているもの)。なお, 複数回受験した者は, 成績の利用を希望する回の受験票(写)を提出してください。 |
| TOEFLのスコア票 | <p>Test of English as a Foreign Language (TOEFL) のスコア票については, ①又は②を提出してください。</p> <p>①「Examinee Score Report」の原本とそのコピーを1部(A4サイズ), 出願書類と一緒に提出してください。</p> <p>①「Official Score Report」は, 2023(令和5)年1月17日(火)までに福井大学へ届くようアメリカETSに手続を行ってください。大学へ送付されるまでに1ヶ月以上の期間を要する場合もあるので早めに手続をしてください。</p> <p>なお, 本学(University of Fukui)のTOEFLのDIコード(Designated Institution Code)は, 「0184」です。</p> <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出願期間最終日までに「<u>Examinee Score Reportの原本</u>」又は「<u>Official Score Report</u>」が届いていない場合には, <u>出願は無効となります</u>のでご注意ください。 2. 「<u>Examinee Score Report</u>」及び「<u>Official Score Report</u>」は, 2021(令和3)年1月以降に実施されたものに限りです。 3. 「Examinee Score Report」を提出した場合, 原本は受験票と一緒に返送します。 |
| 住民票等 | 本邦在留の外国人は, 市区町村長発行の住民票(本人に係るすべての事項を証明したもの)を提出してください。海外住居者は, 住民票の代わりにパスポートのコピー(姓名, 国籍及び在留資格が記載されたページ)を提出してください。なお, 在留資格が「留学」以外の者は, 在留資格に係る承諾書(本学所定の用紙)を提出してください。 |
| あて名票 | 本学所定の用紙 合格通知及び入学手続書類の送付に使用するので, 出願後受信場所が変更となった場合は, 速やかに連絡してください。 |
| 返信用封筒 | 本人の住所・氏名・郵便番号を明記し, 244円分の切手を貼付してください。 |
| 出願用封筒 | 必要事項を全て自書し, 書留速達で郵送してください。 |

※出願書類中, 外国語で書かれた証明書及び文書等には, 日本語訳を必ず添付してください。

4. 出願上の注意事項

- (1) 出願資格等入学試験に関する問い合わせは、期間に余裕をもってメールにより行ってください。
学務部入試課メールアドレス g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp
- (2) 出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済の検定料は返還しません。次の該当者は、速やかに学務部入試課に問い合わせてください。
- 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - 出願が無効となった場合
 - 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- (3) 受理後の出願書類等は、どのような事情があっても返還及び記載事項の変更を認めません。なお、志願者には、出願期間終了後、受験票を送付します。2023（令和5）年1月31日（火）までに受験票が到着しない時は、学務部入試課に問い合わせてください。
- (4) 出願書類等に不備がある場合は、受理できないことがあるので十分注意してください。
- (5) 出願書類等の記載が事実と相違した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (6) 本学入学志願者で、病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、以下のとおり本学入試課（電話 0776-27-9927）に出願前申請を行ってください。
また、期限後にやむを得ない事情等により申請が必要となった場合には、速やかに相談してください。
1. 出願前申請の期限
2022（令和4）年12月23日（金）まで
 2. 事前相談の申請方法等
本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「トップページ」→「受験生の方へ」→「入試情報・募集要項」内の「障がいのある入学志願者等の事前相談」から確認してください。

V 選抜方法等

1. 選考日及び場所

2023(令和5)年 2月10日(金) 福井大学(文京キャンパス)

| 学部 | 時間 | 試験科目等 |
|--------|---------------|---------------------------|
| 工学部 | 13:00 ~ 13:15 | 受付場所（総合研究棟 I 1F） |
| | 13:30 ~ | 面接及び口述試験（簡単な筆記試験を行う場合もある） |
| 国際地域学部 | 8:30 ~ 8:45 | 受付場所（総合研究棟 V（教育系1号館）1F） |
| | 9:15 ~ 10:15 | 学力検査（小論文） |
| | 13:00 ~ | 面接 |

<注意点:両学部共通>

1. 受付場所は、裏表紙の建物配置図を参照してください。
2. 受験の際は、**福井大学受験票とともに、日本留学試験の受験票を必ず持参**してください。
3. 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
4. 本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は、失格となります。
5. 試験中、携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。携帯電話を時計代わりに使用することはできません。
6. 面接の終了時刻は、受験者により異なります。
7. 受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、余裕をもって到着するように十分注意してください。万が一、風雪害、交通障害等により試験実施日時等を変更する場合は、福井大学ホームページに随時情報を掲載してお知らせします。

2. 選抜方法

日本留学試験, TOEFL, 本学が実施する学力検査等の成績及び出願書類を総合して行います。本学が指定した日本留学試験及び TOEFL の教科・科目を一部でも受験していない者は無資格者となるので, 出願前に志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。なお, 無資格者は本学が実施する学力検査を受験できません。

(1)工学部

| 日 本 留 学 試 験 | | | | TOEFL | 本学が実施する学力検査等 |
|-------------|--------------------|------|-----------|-------|---------------------------|
| 日本語 | 理 科 | 総合科目 | 数 学 | | |
| ○ | ○ 物理・化学・生物から2科目 | × | ○ コース2 | ○ | 面接及び口述試験(簡単な筆記試験を行う場合もある) |

(2)国際地域学部

| 日 本 留 学 試 験 | | | | TOEFL | 本学が実施する学力検査等 |
|-------------|-----|------|-----|-------|--------------|
| 日本語 | 理 科 | 総合科目 | 数 学 | | |
| ○ | × | ○ | × | ○ | 小論文, 面接 |

<注意点:両学部共通>

1. 日本留学試験の出題言語は, 日本語とします。
2. ○印は当該試験を課すことを, ×印は課さないことを示します。

「新型コロナウイルス感染症対策のための注意事項」

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため, 試験場内では, 昼食時を除き, **必ずマスクを正しく着用(鼻と口の両方を確実に覆うこと)**してください。(アレルギー等やむを得ない理由でマスクの着用が困難な場合は, 原則2日前までにその旨入試課まで申し出てください。)休憩時間や昼食時等の他者との接触, 会話を極力控えるようにしてください。
- (2) 試験室への入退出を行うごとに, 備え付けのアルコール製剤で必ず手指消毒を行ってください。
- (3) 試験室の換気のために窓の開放等を行う時間帯があります。
- (4) 昼食が必要な者は必ず持参してください。食事は黙食とし, 自席で監督者の指示に従って食事をしてください。
- (5) 試験が終了しても試験場内ではマスクを着用し続けてください。マスクを取り替えた場合であっても, 試験場内にマスクを廃棄しないでください。試験終了後は, 各自寄り道などはせず, なるべくまっすぐ帰宅してください。帰宅後はまず手洗いやうがいを行ってください。

「新型コロナウイルス感染症対応における受験可否の基準」

以下の枠内記載の状態にある者は, 受験できません。また, 追試験は実施せず, 検定料の返還も行いません。

なお, 試験場における新型コロナウイルス感染症等の感染拡大を防止し, 受験生が安心して受験できる環境を確保するために, 発熱・咳等の症状がある者は, あらかじめ医療機関で受診するようにしてください。試験当日に息苦しさ(呼吸困難), 強いだるさ(倦怠感), 高熱等の強い症状のいずれかがある場合, 基礎疾患等により重症化しやすい者が発熱・咳等の比較的軽い風邪の症状(※)がある場合の他, 発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合は, 受験の可否について, かかりつけ医や「受診・相談センター」(地域により名称が異なることがあります。)に相談してください。

<受験できない者>

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊療養施設において療養中の者
- ② 試験日時時点で保健所等から濃厚接触者に該当するとされている者
- ③ 海外から日本に入国して受験する場合、入国後の待機期間中^(注)の者
- ④ ※の症状により、かかりつけ医等に相談の結果、受験を控えるよう診断された者

(注) 『入国後の待機期間』については、外務省ホームページを参照願います。

VI 合格者発表

2023(令和5)年2月17日(金)10時

<注意点:両学部共通>

本学ホームページ(<https://www.u-fukui.ac.jp/>)の「受験生の方へ」内で合格者の受験番号を発表するとともに、合格通知書及び入学手続関係書類を書留速達郵便で送付します。不合格者への通知は行いません。また、電話等による照会には一切応じません。

注. 試験当日等に、JR 福井駅や試験場周辺で可否電話やメール等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係ないので、十分注意してください。

VII 入学手続

合格者には、合格通知書とともに「入学手続要項」等を送付するので、その内容をよく確認して手続を行ってください。

1. 入学手続期間と方法

2023(令和5)年3月2日(木)～3月7日(火)17時までに必着

- 注1. 入学手続書類等は本学所定の封筒に同封のうえ、学務部入試課へ郵送(書留速達)するものとし、入学手続期間内に必着とします。
2. 入学手続期間後に到着したものは、いかなる理由があっても一切受理しないので郵便事情等を考えて早めに送付してください(期間前到着は可、持参提出は不可)。
3. 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

2. 入学手続書類の送付先

〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

3. 入学手続時に要する経費

- ① 入学料 282,000円(予定額)
- ② 授業料 前期分 267,900円【年額 535,800円】(予定額)

注1. 入学時又は在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。

2. 入学料・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」に記載します。
3. 納入された入学料は返還しません。

4. 入学料徴収猶予と授業料徴収猶予

経済的理由により入学料等の納付が困難であると認められる者に対しては、申請により選考の上、入学料及び授業料の徴収を猶予することがあります。

詳細は、本学が送付する入学手続要項及び本学ホームページ等でお知らせします。

VII 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備、④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

- 1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- 2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すこととなります。）
- 3) 提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害するおそれがない範囲で、学術研究の目的のために提供する場合

【問い合わせ先】 福井大学学務部入試課

Ⅸ 学生募集要項の請求

1. テレメールによる請求方法

(1) 福井大学ホームページ（パソコン）からの請求方法

本学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「受験生の方へ」内の「入試資料の請求方法」から  テレメールにアクセスしてください。

※本学ホームページ内の「受験生の方へ」では大学の概要や入試情報等も紹介しています。

(2) テレメールによる請求方法

①  テレメールにアクセスしてください。

| | | |
|-------------------------------|---|---|
| インターネット (パソコン ・スマートフォン) | https://telemail.jp |  上記コードを読み取るだけでアクセスできます。 |
|-------------------------------|---|---|

② 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

| 資 料 名 | 資料請求番号 |
|------------------|--------|
| 私費外国人留学生選抜学生募集要項 | 563242 |
| 大学案内 | 563240 |

③ ガイダンスに従って申し込んでください。

- ・ 発送日のおおむね3～5日後に資料が届きます。
受付時間や地域、配達事情によっては到着まで1週間程かかる場合もあります。
- ・ 送料は資料に同封されている支払方法に従い、表示料金をお支払いください。
(支払いに際して手数料が別途必要になります。)
- ・  テレメールでの請求についての問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102 (9:30～18:00)

2. 大学への請求方法（できるだけ テレメールで請求してください。）

「私費外国人留学生選抜学生募集要項請求」と明記し、送付先（請求者）の郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて学務部入試課へメールまたはFAXにより申し込んでください。

「ゆうメール」の着払いで送付します。

E-mail : g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

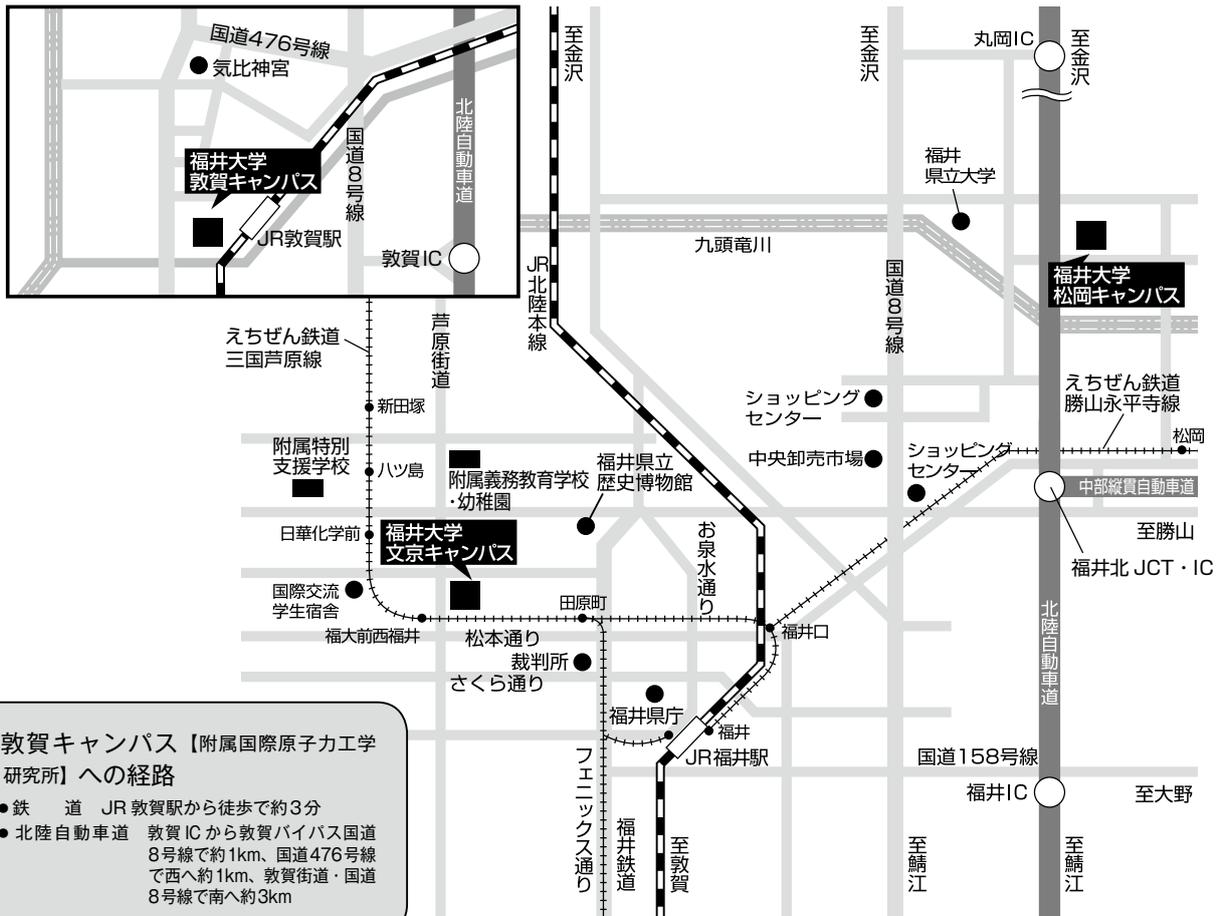
FAX : 0776-27-8010

3. 窓口での請求方法

本学窓口で配付します。（祝日を除く月～金曜日の9:00～17:00）

文京キャンパス：福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

福井大学位置図



■ 敦賀キャンパス【附属国際原子力工学研究所】への経路

- 鉄道 JR 敦賀駅から徒歩で約3分
- 北陸自動車道 敦賀ICから敦賀バイパス国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km

■ 文京キャンパス【教育学部・工学部・国際地域学部】への経路

- バス JR 福井駅(約10分)→福井大学前下車 [JR 福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
- 鉄道 JR 福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から [JR 福井駅東口から出て三国芦原線で約10分] *西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー JR 福井駅(約10分)→福井大学文京下車 [必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km 福井ICから国道158号線で西へ約8km

■ 松岡キャンパス【医学部】への経路

- バス JR 福井駅(約35分)→福井大学病院前下車 [JR 福井駅西口から出て市内バス乗り場1番から]
- 鉄道 JR 福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分+バス [JR 福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分+バス] *西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー JR 福井駅(約30分)→福井大学松岡下車 [必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから北へ約4km、又は丸岡ICから南へ約5km *標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」の位置を指します。

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- JRで 大阪・京都-湖西線経由-福井 (特急で、京都から約1時間30分、大阪から約2時間)
- 自動車で 大阪・京都-<名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC (京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バスで 大阪・京都-<名神・北陸>-福井 (京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

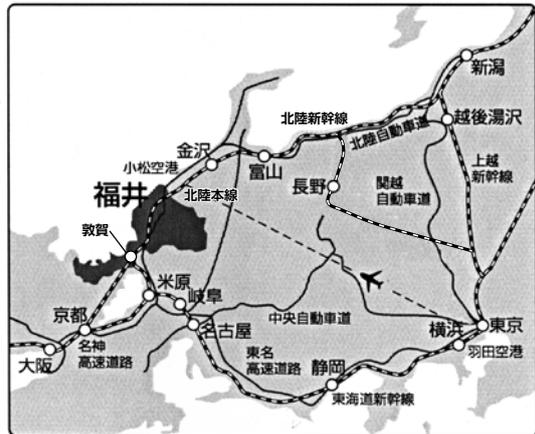
- JRで 名古屋・静岡-米原経由-福井 (名古屋から新幹線・特急で約1時間40分、特急で約2時間)
- 自動車で 名古屋-<名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC (約2時間)
- 高速バスで 名古屋-<名神・北陸>-福井 (約2時間50分)

東京方面から

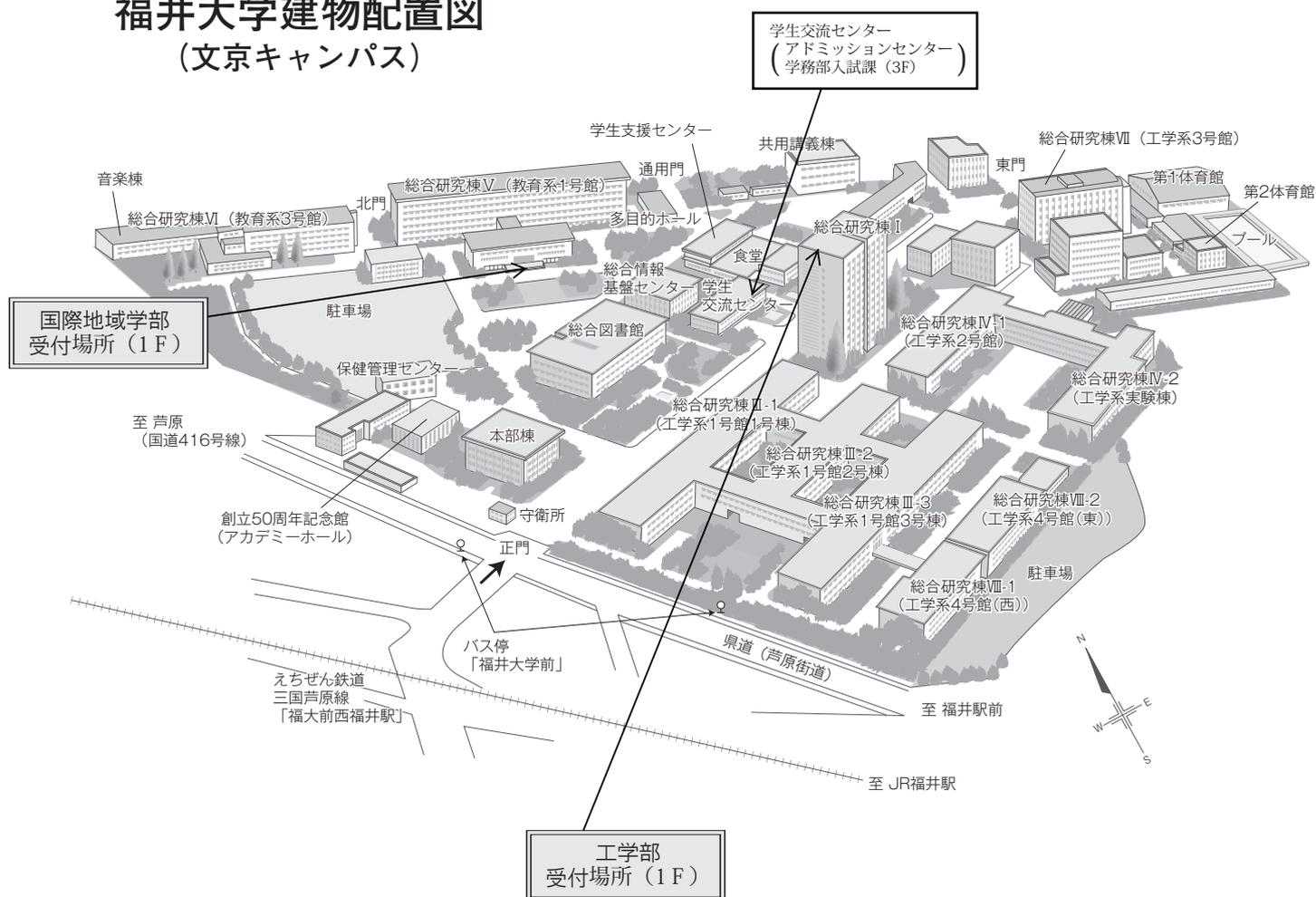
- 飛行機で 東京羽田-小松空港(1時間)-福井(連絡バス1時間)
- JRで 東京-米原経由-福井(新幹線・特急約3時間30分) 東京-金沢経由-福井(新幹線・特急約3時間30分)
- 自動車で 東京-<東名・名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC (約6時間30分) *高速バスもあります。

金沢・新潟方面から

- JRで 金沢・新潟-福井(金沢から特急で約40分)
- 自動車で 金沢-<北陸>-丸岡-福井北JCT・IC(約1時間)



福井大学建物配置図 (文京キャンパス)



《受験に関する問い合わせ先》

福井大学学務部入試課

〒910-8507 福井市文京3-9-1

TEL 0776-27-9927

<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。

〔福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>〕

- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。